

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部 法律経済学科
学年(出発時)	4
大学名	ハイデルベルク大学
国	ドイツ
留学期間	2018年 3月 2日 ～ 2019年 3月 18日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	学食にて自習
9:00	学食にて自習
10:00	学食にて自習
11:00	学食にて自習
12:00	学食にて自習
13:00	学食にて自習
14:00	授業
15:00	授業
16:00	授業
17:00	授業
18:00	学食にて自習
19:00	学食にて自習
20:00	学食にて自習
21:00	学食にて自習
22:00	学食にて自習
23:00	帰宅
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Sprach Kurs(ドイツ語) A1.2	20	春季集中講座	ドイツ語	教科書でドイツ語を学習、期末テスト一回
Sprach Kurs(ドイツ語) A2.1	8		ドイツ語	教科書でドイツ語を学習、プレゼンテーション1回、期末テスト一回
Sprach Kurs(ドイツ語) B1.2	8		ドイツ語	教科書でドイツ語を学習、プレゼンテーション1回、期末テスト一回
Kreativeves Schreiben 1	3		ドイツ語	ドイツ語文学、長文筆記、期末テスト(長文筆記)
Kreativeves Schreiben 2	3		ドイツ語	ドイツ語文学、長文筆記、期末テスト(長文筆記)
Die japanische Verfassung	2	聴講	ドイツ語	論文を事前に読み、授業でディスカッション
Übersetzung 4	2	聴講	ドイツ語	教科書で日本語の学習、課題の翻訳
Übersetzung 5	2	聴講	ドイツ語	翻訳を事前に行い、授業で回答

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	銀行の開設、携帯の開通
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	C1以上のコースは有料

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Neuenheimer Feld 133
部屋タイプ	フラットシェア(キッチン、バス、トイレ共有)
ルームメイト(国籍)	ドイツ(男)、ドイツ(女)、中国(男)
室内設備	机、椅子、クローゼット、ベット、マットレス、本棚
共用施設	(建物内)音楽室、バー
インターネット設備	有(寮によって異なる)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	自転車、定期(Semester Ticket)あり(約170ユーロ)
アルバイトの有無	有
アルバイトの内容	輸出販売業社での発送業務

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	Auslandamt
Visa取得にかかった日数	2週間
Visa取得にかかった費用	70ユーロほど
Visa取得方法、提出書類等	年によって変更があるので、大使館のホームページで確認してください。
留学先大学の最寄り空港までの経路	フランクフルト空港から、電車もしくは急行バス
渡航費用	往復で10万から
ピックアップサービスの有無	無

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	有
有る場合、その理由	留学に行く以前から休学を挟んでいた
就職活動開始時期	2020年夏、ドイツにて
帰国後の進路	東京でインターンシップ、その後と渡独し現地で就職予定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝130円 ほど
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	AOK 約99ユーロ/月
学費(教科書代や語学コース授業料等)	ドイツ語の授業の教科書は15～25ユーロほど
宿舍費(月額)	約250ユーロ(量により異なる)
光熱費(月額)	寮費に含む
食費(月額)	約200ユーロ
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	約100万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

ハイデルベルクは多くの意味で素晴らしい町でした。

古く歴史のある建物が立ち並び、その中にキャンパスが点在しています。町にはネッカー川という大きな川が流れており、川沿いには東京ドーム1個分ほどの敷地面積を持つ緑地公園があります。夏にはそこでバーベキューをしたり日向ぼっこ、散歩を楽しんでいる人が多いです。エアコンがない建物がほとんどですが、湿度が低いため、日本の暑さに慣れていればうだるほどの暑さというふうには感じないと思います。また、冬については、ハイデルベルクはドイツ国内ではかなり温暖な気候なため、雪は年に数回で積もるほど降ることもほとんどありません。そのため雨が多いですが、しとしと降る程度なことが多く苦勞するようなことはありませんでした。ハイデルベルクが属している州はドイツ国内で一番治安がいい州で、ハイデルベルクもヨーロッパ内でみると他に類を見ないほど良いと聞いています。(ただし、外国であることには変わりありませんので、全く警戒しなくていいというわけではありませんが。)

暮らすにあたっての手続きでは、ハイデルベルク大学と日本学部のサポートがしっかりとあるため、ドイツに着いた時から安心して手続き等にのぞめました。また、その際にサポートしてくれる学生たちとも交流がもてるため、友人を作るきっかけにもなると思います。

学習についてですが、大学からは留学生向けにドイツ語のコースと英語で行う様々な分野の授業が用意されています。ドイツ語のコースは大学に付属する語学学校が行います。授業の質はその他語学学校に比べてもレベルが高いとのことで、安心して参加できると思います。また、クラスのレベルが自分に合っていないと感じた時は申し出ればクラスを変更できます。学期中のコースは、レベルにより異なりますが、4、8、20時間/週からコースを選択できます。冬休み、もしくは夏休み期間にも集中語学講座があります。

私は授業以外にも、ほぼ毎日朝から夜まで大学の学食(Mensa)にいて宿題や自主勉強をしながらドイツ人の友人たちと過ごしていました。その中でドイツ語のリスニング力や日常会話での表現方法などを自然に身につけることができました。また、日本学の授業にも参加し、日本語・ドイツ語間の翻訳や、日本語の表現をどうドイツ語で言い表すかを学ぶことができました。また、週に2~4時間ほどタンデム(お互いに言語を教えあうことで、チューターのようなものですが完全に個人的な関係です)を行いました。

ハイデルベルクは大学都市・観光都市なのでとにかく国際色豊かで、バスの中一つとっても多い時で7・8ヶ国語くらいの言語が聞こえてきます。そのため、明確な人種差別を受けることはありませんでした。また、日本に興味を持っている学生も多くおり、彼らと交流を持つことはそう難しくありません。

新しいことに触れ、知的好奇心を刺激される。世界の様々な文化や考え方に触れながら、充実した日々を過ごせる最適な場所だと思います。

今後留学する人へのアドバイス

留学という経験は、人生をまるきり違うものにする可能性を大いに含んでいます。

日本にいただけでは、実感できないこと、想像すらできないこと。そんな体験が待っているのが、外国という場所です。そこに臆せず飛び込み生活したというだけでも、十分な自信を与えてくれます。

ハイデルベルクで出会った人は、出身がどこの国であろうと留学してよかったと述べていました。抱えている事情は違いますから「留学したいけどどうしよう」と悩むことは当然だと思います。そこで一歩を踏み出せずにとどまってしまう人は、結局のところ外国で暮らせるような人ではないと感じました。

そのような岐路に立たされたときに、「やってやる!」と思える人の中から今後ワールドワイドで活躍する人が出てくるのでしょう。そんなチャンスをみすみす逃す手はないと思います。

＝具体的な注意点＝

・ドイツ人ははっきりとものを言うことを好みます。自分の考えを述べない人間は「何を考えているかわからなくて怖い/不安」と思われ、避けられてしまいます。現地で生活しているうちに言うことに慣れるとは思いますが、最初は意識して積極的に意見を述べる方が良いと思います。このことが理由でタンデムパートナーになることを断ったと言ってるドイツ人が複数人いたので割と重要です。

・語学コースについて注意点があります。日本と違い、授業を休む回数が一定数に達すると罰金を支払わなければならないことです。最初の授業で誓約書に署名をするのですが、注意して読んだ方がいいでしょう。

・ドイツ人は比較的きれい好きとおもわれがちですが、学生はあまり掃除をしません。フラットシェアの寮は比較的安いですが、共有部分の掃除を自分でしたり、掃除のルールを全体で話し合っ決めて決めるようなことが面倒だと感じる人は一人部屋を選ぶことをおすすめします。(私のフラットは、他のメンバーが全く掃除をしない人たちだったので苦勞しました。)

報告書記入日

2019年3月28日